

第 39 回 日本心臓血管内視鏡学会学術集会

ご挨拶



第 39 回日本心臓血管内視鏡学会学術集会

会長 市川 稔

(市立東大阪医療センター循環器内科)

このたび、日本心臓血管内視鏡学会よりご指名を賜り、第 39 回日本心臓血管内視鏡学会学術集会の会長を拝命いたしました。身に余る光栄とともに、その責務の重さを痛感しております。

循環器領域では、急性冠症候群をはじめとする虚血性心疾患、末梢動脈疾患、弁膜症など、重篤かつ緊急性を要する疾患が数多く存在します。こうした疾患に対し、より安全で質の高い医療を提供するためには、病態理解の深化と技術革新が不可欠です。なかでも血管内視鏡を中心とした血管内イメージングは、病変の本質を直視できる手段として、その重要性が一層高まっております。

本学術集会では、血管内視鏡を含むさまざまなイメージングを用いた最新の臨床知見、基礎研究、画像解析技術の進歩など、多岐にわたるテーマを取り上げ、臨床研究、シンポジウム、症例報告、各種セミナーなど、多彩なプログラムを予定しております。参加者の皆様にとって実りある研鑽の場となり、日常診療の質のさらなる向上に寄与する学会となりますよう、鋭意準備を進めております。

2026 年 10 月 3 日（土）、千里ライフサイエンスセンターにての開催を予定しております。つきましては、学会会員の皆様をはじめ、循環器診療・研究に携わる多くの先生方にご参加いただき、活発な意見交換を通じて新たな知の創出とネットワーク形成の機会としていただければ幸甚に存じます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

